

第76期
(2024年3月期)
決算説明資料

2024年5月15日

トーイン株式会社
証券コード：7923



第76期 決算概要

注意

- ① 本資料に記載の売上高の金額には、消費税等は含まれておりません。
- ② 本資料に記載の金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。
- ③ 本資料に記載の前年比、構成比等の数値は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

総括

当連結会計年度の業績については、包装資材事業において、引き続き当社加飾技術や環境対応資材を中心に当社製品の優位性のアピールを軸とする企画提案型の営業活動を継続的に実施するとともに、エネルギー、諸資材価格や物流コストの上昇を吸収すべく、採算性を一層重視した受注活動に注力してまいりました。その結果、国内の売上高は、食品、化粧品分野がそれぞれ底堅く推移し、増収となりました。海外においても、ベトナム現地法人（TOIN VIETNAM CO., LTD.）、タイ現地法人（TOIN（THAILAND）CO., LTD.）とも増収となり、売上高は12,150百万円（前年同期比6.7%増）となりました。

精密塗工事業においては、世界的な半導体市況の好転により、関連する精密塗工製品の需要が復調、特に下期における受注の増加により、売上高は824百万円（前年同期比4.9%増）となりました。

その他事業においては、きめ細かな営業活動が奏功し、日用品や化粧品のアッセンブル事業の受注が伸びたため、売上高は532百万円（前年同期比2.0%増）となりました。

この結果、グループ全体の売上高は13,507百万円（前年同期比6.4%増）となりました。

利益面では、包装資材事業において、エネルギーや諸資材の価格上昇に対して、採算性を重視した営業活動や工場運営の効率化等による製造コストの低減を推進した結果、前年同期比で増益となりました。

精密塗工事業においては、受注増にともなう生産体制の強化と製造コストの管理を徹底し、前年同期比で増益となりました。

その他事業においては、引き続き柔軟性のある生産体制の編成、人件費の圧縮等により採算性の確保に努め、前年同期比で増益となりました。

この結果、当期は、営業利益411百万円（前年同期営業利益16百万円）、経常利益580百万円（前年同期比605.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益487百万円（前年同期比877.9%増）となりました。

<当年度のトピックス>

【営業面・技術面】

- 世界最大規模の化粧品見本市「コスモプロフアジア」に出展（2023年9月14日～16日）
- コールドフォイル加工を施したパッケージの提案開始
- UVラミコート加工を施したパッケージの提案開始
- LIMEXシートを使用したパッケージの生産開始

【その他】

- 「パッケージで人生（LIFE）をもっと明るく、豊かに」を中長期経営ビジョンとする、
新3ヶ年中期経営計画を策定（2024年2月）
- 茨城県つくばみらい市に固定資産（土地）取得（2024年3月）

第76期 連結損益計算書

(単位：百万円)

	第75期		第76期		対前期比	備 考
		%				
売上高	12,697	100.0	13,507	100.0	809	
売上原価	10,745	84.6	11,087	82.1	341	
売上総利益	1,952	15.4	2,420	17.9	467	
販売費及び一般管理費	1,935	15.2	2,008	14.9	73	
営業利益	16	0.1	411	3.0	394	
営業外収益	109	0.9	214	1.6	104	
営業外費用	43	0.3	45	0.3	1	
経常利益	82	0.6	580	4.3	498	
特別利益	63	0.5	123	0.9	60	
特別損失	52	0.4	73	0.5	20	
税金等調整前当期純利益	93	0.7	630	4.7	537	
法人税等	44	0.4	143	1.1	98	
当期純利益	48	0.4	487	3.6	439	
非支配株主に帰属する 当期純利益	△1	△0.0	△0	△0.0	1	
親会社株主に帰属する 当期純利益	49	0.4	487	3.6	438	

第76期 連結貸借対照表

(単位：百万円) **TOIN**

	第75期		第76期		対前期比	備 考	
		%		%			
流動資産	7,848	43.3	8,023	41.5	174	現金及び預金 売掛金	△282 +386
固定資産	10,276	56.7	11,313	58.5	1,036		
有形固定資産	7,479	41.3	8,396	43.5	916	機械装置及び運搬具 土地 建設仮勘定	△219 +1,603 △481
無形固定資産	20	0.1	86	0.4	65		
投資その他の資産	2,776	15.3	2,830	14.6	54		
《資産合計》	18,125	100.0	19,336	100.0	1,211		
流動負債	5,772	31.8	5,645	29.2	△127	支払手形及び買掛金 電子記録債務 未払消費税等	△546 +270 +131
固定負債	3,100	17.2	3,680	19.0	579	長期借入金 退職給付に係る負債 役員退職慰労引当金	+965 △233 △156
《負債合計》	8,873	49.0	9,325	48.2	452		
株主資本	8,027	44.3	8,439	43.6	412		
資本金	2,244	12.4	2,244	11.6	0		
資本剰余金	2,901	16.0	2,901	15.0	0		
利益剰余金	3,592	19.8	4,005	20.7	412		
自己株式	△ 711	△ 3.9	△711	△3.7	0		
その他の包括利益累計額	1,180	6.5	1,523	7.9	342	為替換算調整勘定 退職給付に係る調整累計額	+80 +261
非支配株主持分	43	0.2	47	0.2	3		
《純資産合計》	9,251	51.0	10,010	51.8	758		
《負債 純資産合計》	18,125	100.0	19,336	100.0	1211		

第76期 連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

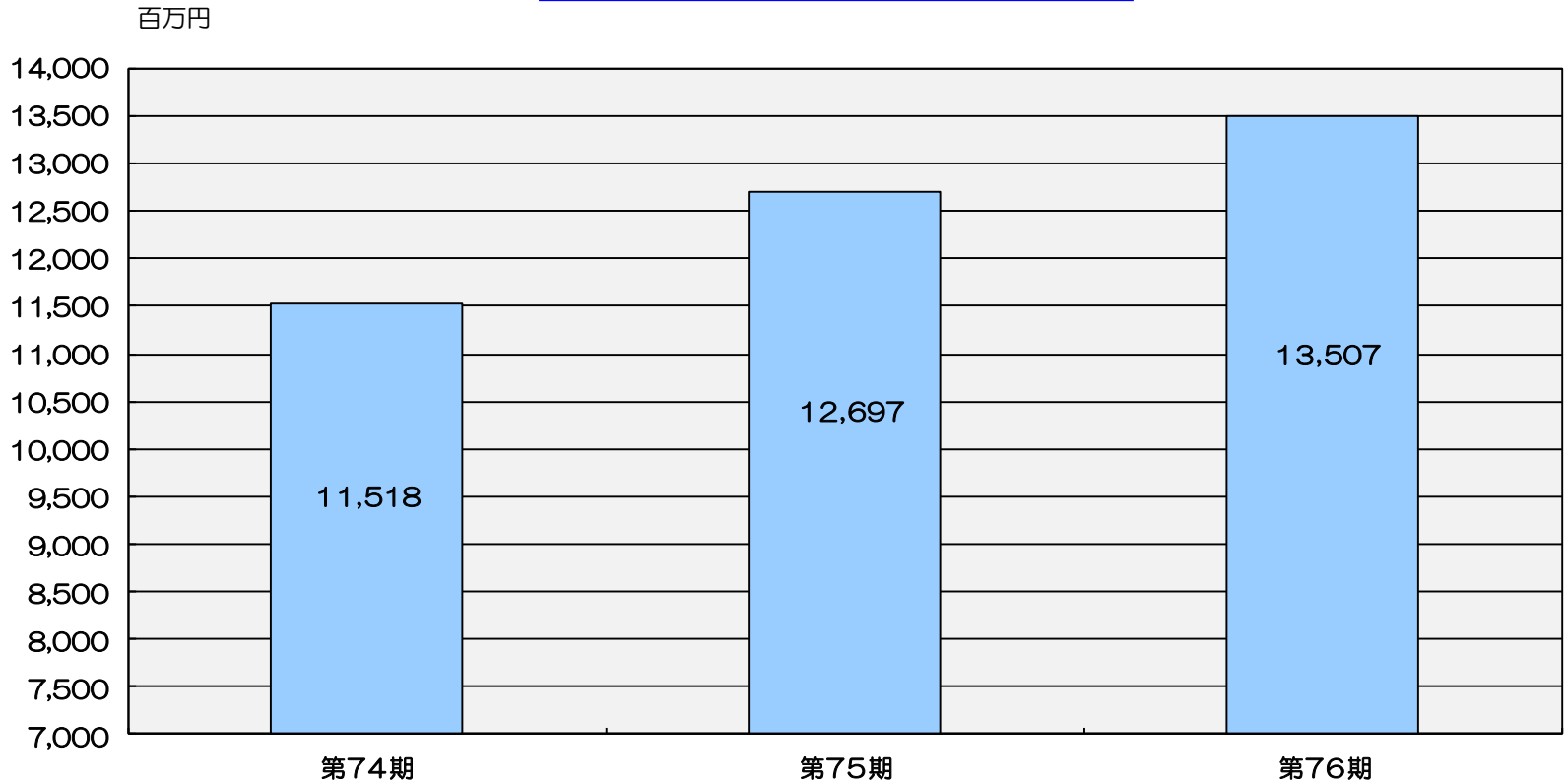
	株 主 資 本					計	そ の 他 包 括 利 益 累 計 額	非 支 配 株 主 持 分	純 資 産 合 計
	資 本 金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自 株 己 式					
当期首残高	2,244	2,901	3,592	△ 711	8,027	1,180	43	9,251	
当期変動額									
剰余金の配当			△ 75		△ 75			△ 75	
親会社株主に帰属する 当期純利益			487		487			487	
株主資本以外の項目の 当期変動額						342	3	346	
当期変動額合計	—	—	412	—	412	342	3	758	
当期末残高	2,244	2,901	4,005	△ 711	8,439	1,523	47	10,010	

第76期 連結キャッシュ・フロー計算書

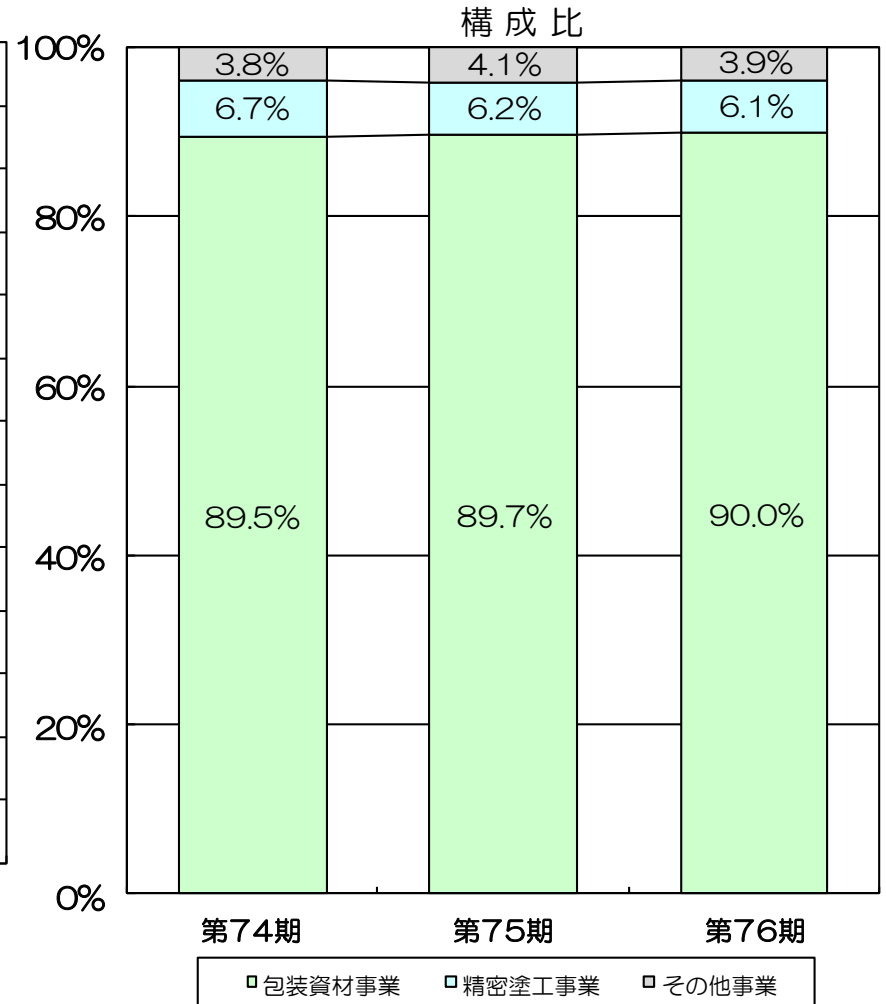
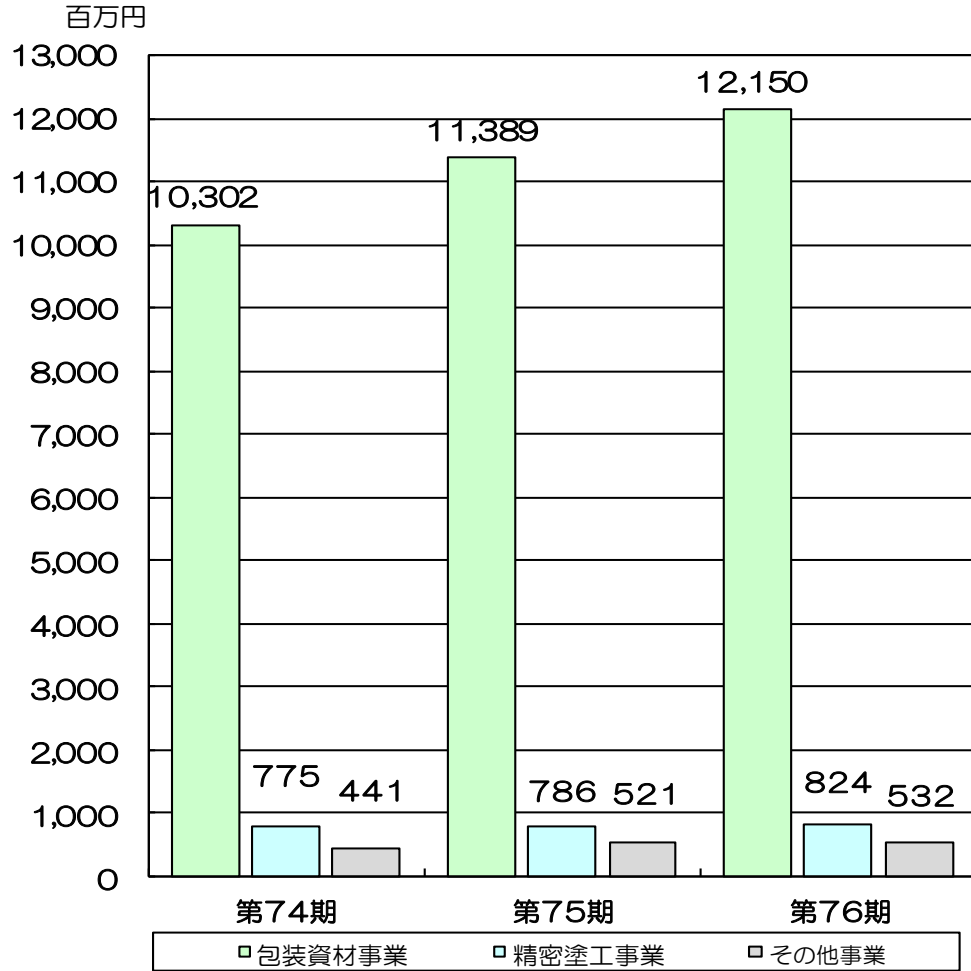
(単位：百万円)

	第75期	第76期	備 考
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,107	546	税金等調整前当期純利益 630 減価償却費 832 売上債権の増減額 Δ 459 仕入債務の増減額 Δ 282
投資活動によるキャッシュ・フロー	Δ 696	Δ 1,750	有形固定資産の取得 Δ 1,896
財務活動によるキャッシュ・フロー	Δ 677	894	借入金の純増額 972 配当金の支払額 Δ 75
現金及び現金同等物に係る換算差額	28	26	
現金及び現金同等物の増減額	Δ 237	Δ 284	
現金及び現金同等物の期首残高	2,318	2,081	
現金及び現金同等物の期末残高	2,081	1,797	

売上高の推移（連結）



事業別売上高（連結）

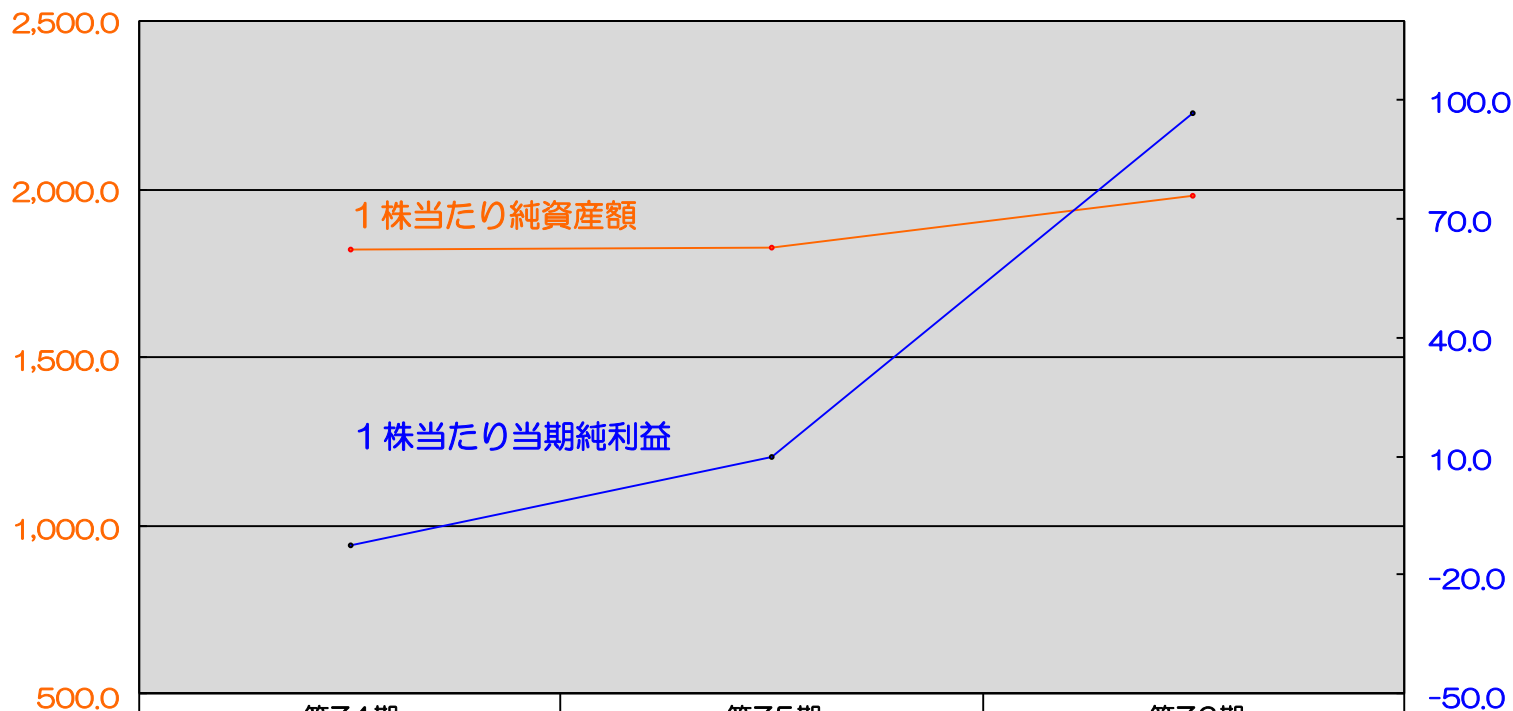


經營指標（連結）

経営指標 I (連結)

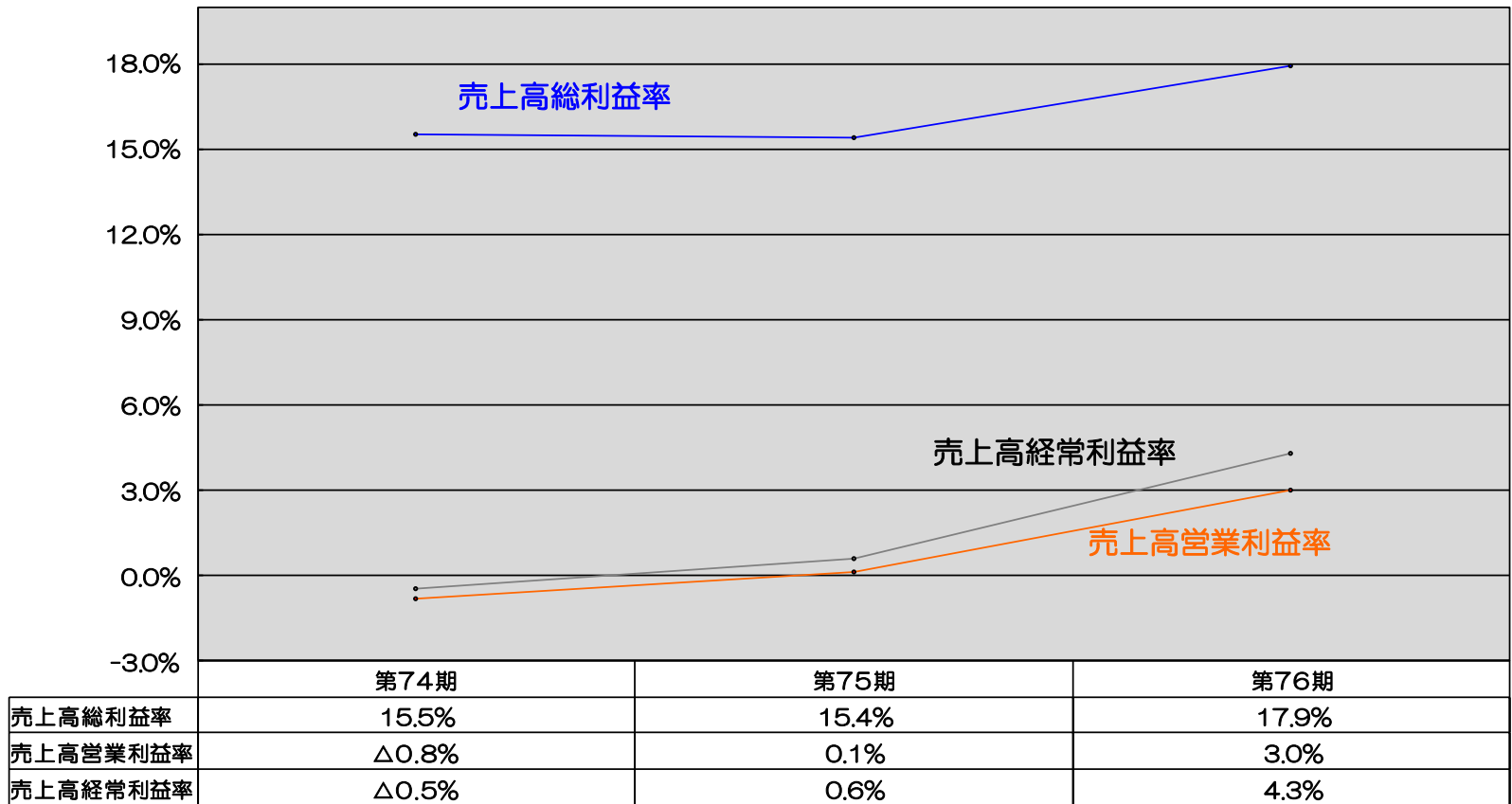
1株当たり純資産額 (円)

1株当たり当期純利益 (円)

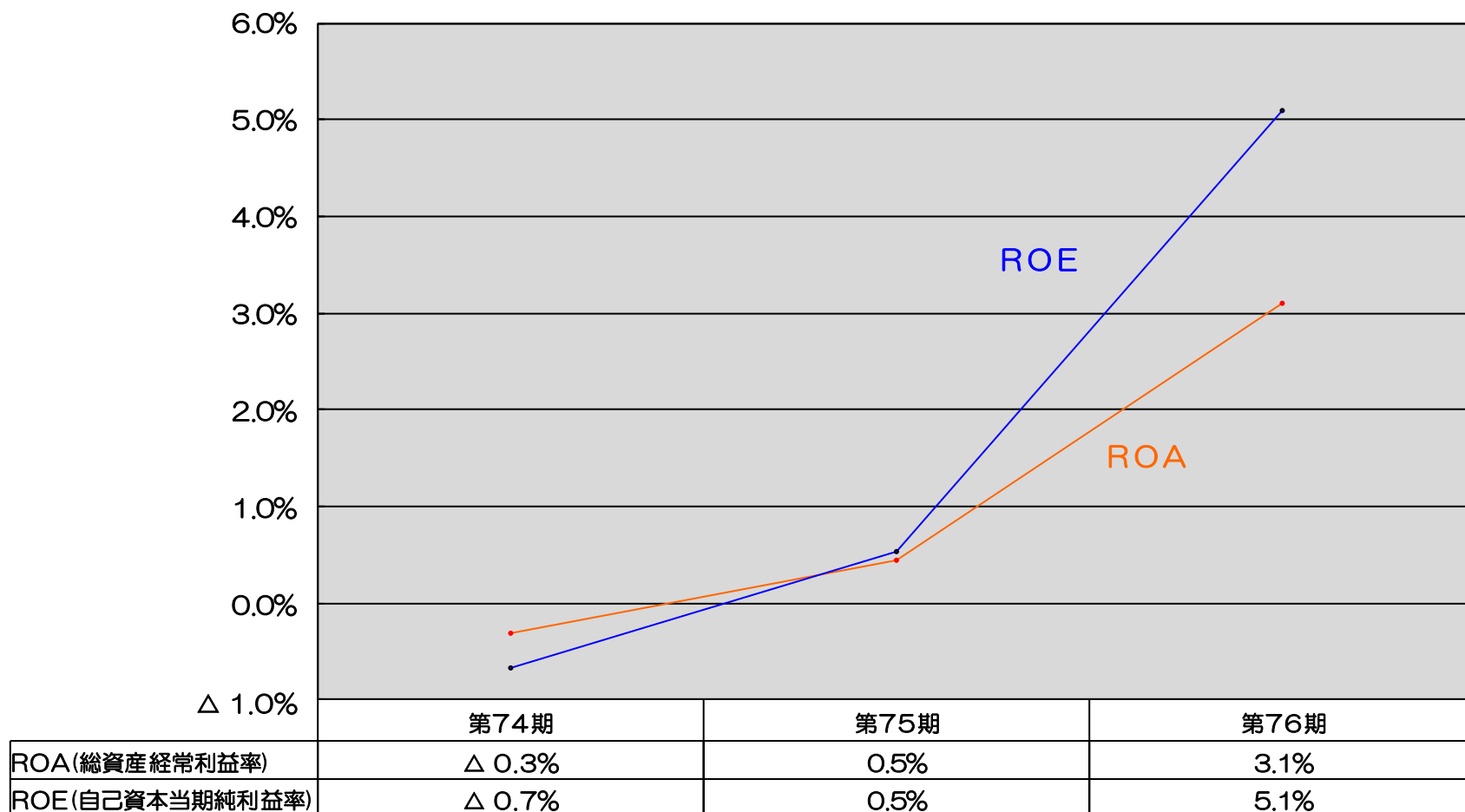


	第74期	第75期	第76期
1株当たり純資産額	1,821.62	1,829.40	1,979.47
1株当たり当期純利益	△ 12.50	9.91	96.94

経営指標Ⅱ（連結）



経営指標Ⅲ（連結）



第77期
(2025年3月期)

連結業績予想

第77期の業績予想について

今後の見通しについては、わが国経済は、インバウンド需要のさらなる拡大や全国的な賃金の引き上げ効果に期待がかかるものの、消費者物価の上昇等を受け、個人消費の本格的な回復には時間を要するものと見込まれます。また、世界各地での地政学リスクの高まりや原油をはじめとする資源高など、厳しい経済状況が続くことが予想されます。

このような状況の中、当社グループは、環境負荷軽減などESG経営の実践、成長分野への選択と集中、保有資産の戦略的活用、生産体制の再編等による事業基盤の再構築により、持続的成長と一層の企業価値向上に努めてまいります。

また、中長期経営ビジョン『パッケージで人生（LIFE）をもっと明るく、豊かに』を標榜しつつ、新技術開発、新しい事業の柱の構築など将来に向けた諸施策を進め、「総合パッケージング企業」への足固めを行ないます。

包装資材事業に関して、営業面においては、引き続き環境配慮資材や当社デザイン・構造設計に係る企画力及び加飾技術力のアピールなど、企画提案型の営業活動を継続的にきめ細かく実施してまいります。また、既存客先との取引深耕とグローバル企業を含む新規客先による売上基盤の拡大、新規分野・新規客先の開拓に積極的に取り組むとともに、エネルギーや諸資材の価格上昇に加え、物流の2024年問題に対してお客さまのご理解をいただきつつ、採算性を一層重視した受注活動に注力してまいります。

ベトナム現地法人（TOIN VIETNAM CO., LTD.）及びタイ現地法人（TOIN (THAILAND) CO., LTD.）は、既存客先からの増注を図るとともに、当社グループの認知度アップを図りつつ、グループ内のさらなる連携強化と協力会社ネットワーク拡大を推進し、東南アジア全域の日系企業、外資系企業並びにローカル大手企業のさらなる開拓、増注を図ってまいります。

生産面においては、固定費の増加傾向が続くなか、工場運営の効率化、省人化・省力化・省エネルギー化の推進、品質管理体制の一層の強化、工場のスマートファクトリー化・DX化の推進、BPOによる業務プロセスの改革と品質・生産性向上、外部協力会社のネットワーク拡大等を推進してまいります。

ベトナム現地法人（TOIN VIETNAM CO., LTD.）においては、品質保証体制の再構築、新技術の習得、最適な材料調達ルート確立のための諸施策の実行と内部管理体制の改善・強化を継続し、収益基盤の安定化に努めてまいります。

精密塗工事業については、販売面では好調な市場での需要を確実に取り込むとともに、新市場、新用途の需要を捉える活動により売上の拡大と安定化を目指してまいります。

また生産面では、生産体制の整備、高度な品質管理体制の強化、技術開発力の強化に継続的に取り組み、収益力の向上に努めてまいります。

その他事業については、デザインからアッセンブルまでの一貫受注体制をセールスポイントに、医薬部外品・化粧品・食品製造の許認可を活用しつつ、引き続き定期的な商品の受注拡大に注力してまいります。生産面では、フレキシブルな生産体制の編成、新規機械設備導入による省人化・省力化等の推進を図るとともに、お客様のニーズに対応した品質保証体制を一層強化し、コスト競争力の強化に努めてまいります。

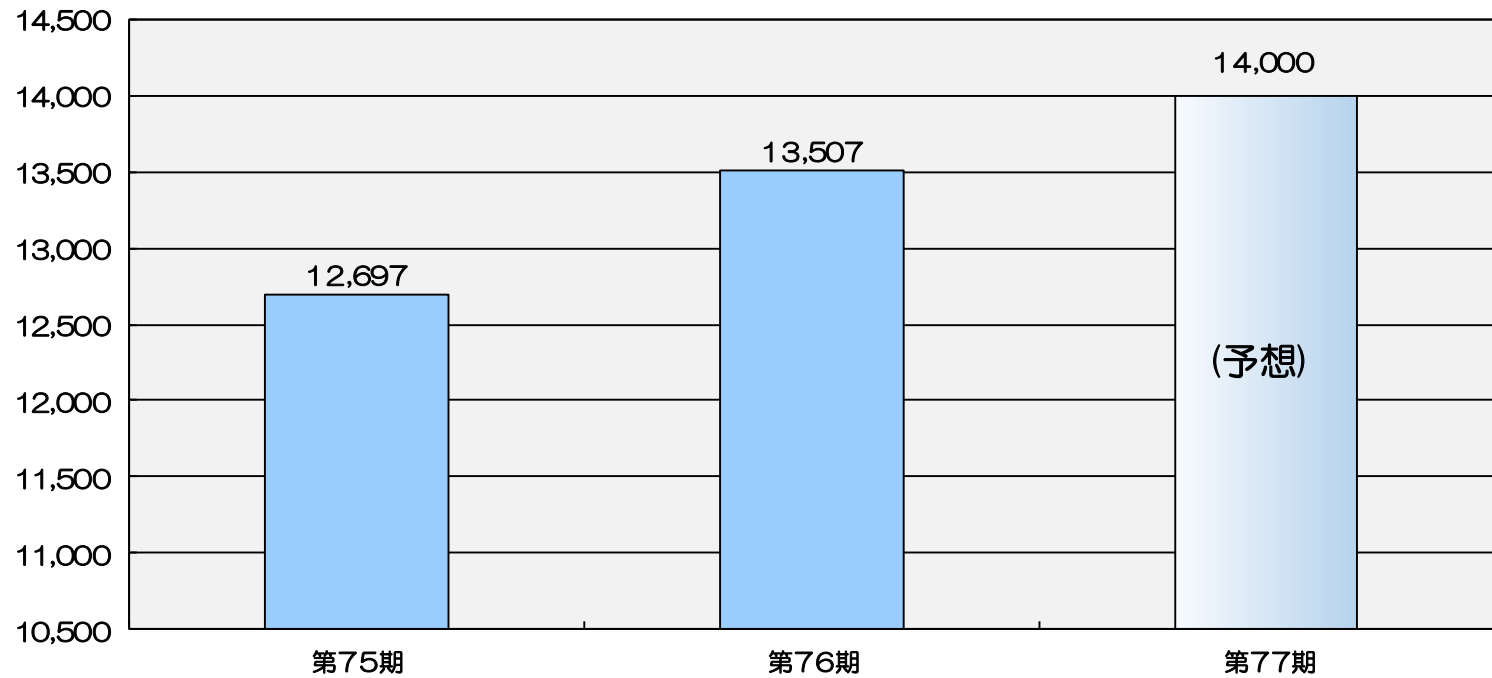
2025年3月期の連結業績予想につきましては、売上高14,000百万円、営業利益420百万円、経常利益440百万円、親会社株主に帰属する当期純利益300百万円を予想しております。

第77期の連結業績予想

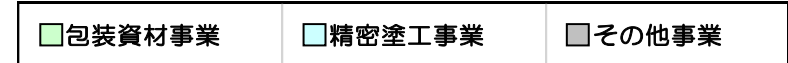
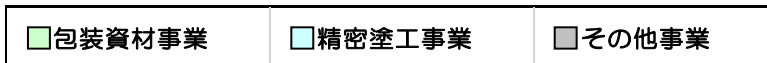
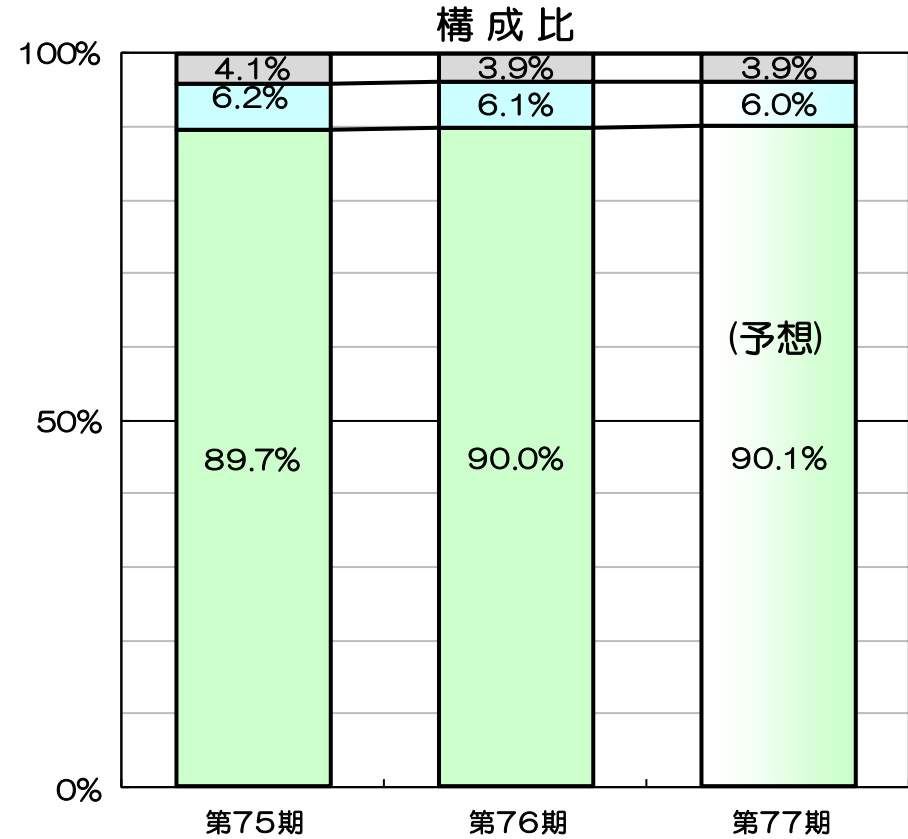
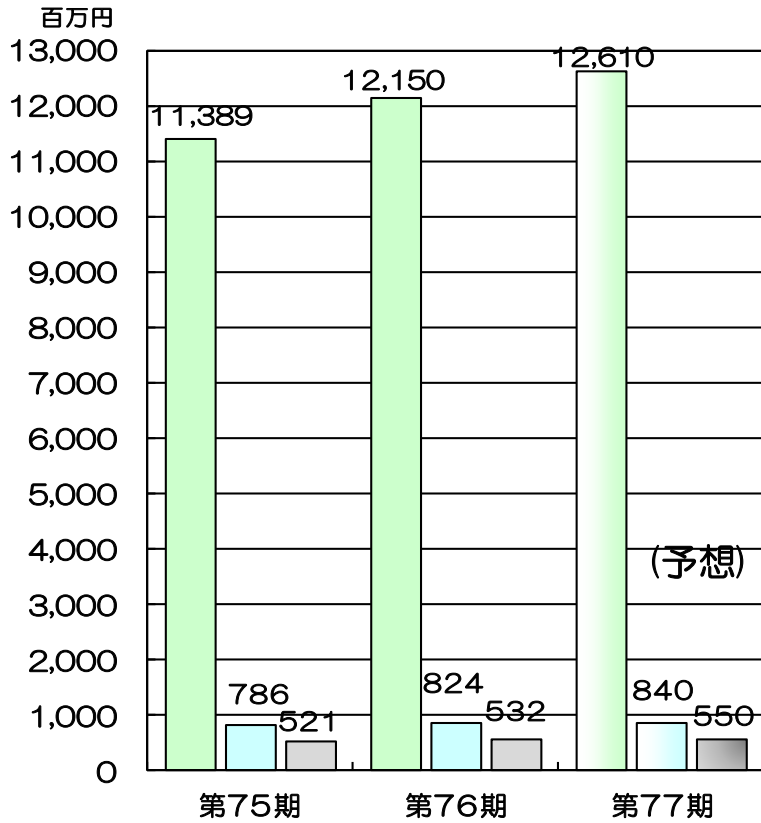
(単位：百万円)

	通 期(予想)	
売 上 高	14,000	% 100.0
営 業 利 益	420	3.0
経 常 利 益	440	3.1
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	300	2.1

通期売上高（連結）



事業別売上高（連結）



経 営 方 針

当社は、経営理念に基づき、お客様の製品づくりや商品販売の一翼を担っているという誇りと責任感を常に持ち、

- ①包装資材事業を中心に、良質な製品を適時に、かつ、十分に供給いたします。
特に、環境や社会に十分に配慮した素材や製品を開発し供給いたします。
- ②長年の知識・経験と技術力をベースとして技術革新に挑み、「よきモノづくり」を極めること、きめ細かいサービス提供に徹することで、お客様のご要望にお応えすることを目指します。
- ③それらを進めることで、株主様、お客様、取引先様、地域社会の皆様、そして、従業員などのすべてのステークホルダーの皆様の多様なニーズに的確にお応えし、豊かな社会への貢献を目指します。

<経営理念>

- お客様に学べ、それが社会への貢献につながる
- 技術革新に挑め、それが会社の発展につながる
- 夢と利益を追え、それが皆の幸福につながる

企業行動規範

- ① 私たちは、社会への奉仕と貢献、社会的信用を重視し、本業による適正な利益を追求します。
- ② 私たちは、未来の真に豊かな社会の実現のため、環境破壊と汚染の防止に積極的に取り組みます。
- ③ 私たちは、社会との良好な連帯に努めるとともに、反社会的な勢力および団体等と一切関係を持ちません。
- ④ 私たちは、法律・規則を遵守し、さらに社会的・道義的責任を自覚し、節度と良識ある行動に努めます。
- ⑤ 私たちは、重要な会社情報を最善の注意をもって取扱い、適時に開示します。また、インサイダー情報を不正に利用した株式の売買等を行いません。
- ⑥ 私たちは、お客さまに感謝の念と誠意をもって接し、お客さまの満足と信頼を大切にします。
- ⑦ 私たちは、時代の変化・要求をとらえた新技術、新製品を開発し、より良い製品とより良いサービスを社会へ提供して行きます。
- ⑧ 私たちは、礼節を重んじ、相手の立場を尊重し、より高い人格の形成と差別のない明るい公平な社会の実現に努めます。
- ⑨ 私たちは、「安全と健康は全てのものに優先する」を基本とし、より安全で快適な職場をつくります。
- ⑩ 私たちは、自らの専門技術と知識を高め、自由活発な意見交換を通じて、創造性豊かな、活力ある企業集団にします。

トーン株式会社

《事業所》

◎東京本社

〒136-0071 東京都江東区亀戸1-4-2
TEL：03-5627-9111(代) FAX：03-3638-1134

◎西日本支社

〒530-0047 大阪府大阪市北区西天満4-8-2
TEL：06-6136-4351(代) FAX：06-6136-4363

◎本店・柏工場

〒277-0804 千葉県柏市新十倉二16-1
TEL：04-7131-2111(代) FAX：04-7132-6937

◎野田事業所

〒270-0237 千葉県野田市中里231-5
TEL：04-7120-8805(代) FAX：04-7120-8017

◎九州事業所

〒839-1333 福岡県うきは市吉井町富永1905-7
TEL：0943-73-7888(代) FAX：0943-73-7999

《子会社》

◎TOIN(THAILAND)CO., LTD. (トーンタイランド)
タイ王国バンコク市

◎TOIN VIETNAM CO., LTD. (トーンベトナム)
ベトナム社会主義共和国ビンズン省

《関連会社》

◎Printing Solution Co., Ltd. (P S C社)
タイ王国バンコク市



○ホームページURL <https://www.toin.co.jp>

○本資料に関するお問合せ

経営企画部 TEL：03-5627-9111 FAX：03-3638-1131